

第1回稚内市廃棄物減量等推進審議会 開催結果（議事録）

1 日時

平成19年11月27日（火）10:00～12:30

2 場所

稚内市役所3階 市長会議室他

3 会議の概要

(1) 開会

- ・ 藤原主査より審議会開会の宣言

(2) 委嘱状交付

- ・ 横田市長より各委員へ委嘱状を交付

(3) 市長あいさつ

- ・ 横田市長から審議会の開催にあたって挨拶

(4) 審議員自己紹介・事務局紹介

- ・ 委員及び事務局のメンバー紹介

(5) 役員選出（互選）

- ・ 会長に中陳委員、副会長に張江委員が互選

(6) 諮問書交付

- ・ 横田市長より中陳会長へ諮問書(別紙)を交付

(7) 会長あいさつ

- ・ 中陳会長から挨拶

(8) 諮問事項の審議・討議

- ・ 日向寺衛生課長より、稚内市の廃棄物処理及びリサイクルの取り組みに関する18年度概要及び今後の計画について説明

以下に、質疑応答に関する発言内容を記載しますが、審議員が特定できないように委員名を伏せています。また、発言の内容についても、審議員が特定できる発言箇所を「■」としています事を予めご承知願います。

【意見・質疑応答】

(A委員)

- ・ 現在、道内で一人・一日あたりのごみの排出量が稚内市が一番多いが、市としては今後、排出量を道内平均の数値まで持っていくのか？1人あたりの排出量を約1,000gあたりまで持っていくなどの目標数値をどのくらいで掲げているのか？

(日向寺課長)

- 循環社会形成推進地域計画の中で、「排出量の削減・資源化率を28%まで上げる。」また、「埋立処分量を排出されたごみの66%まで落とす」と説明しましたが、これを日・1人あたりの平均にすると約1,300gになります。それでも、道内平均には達していないので、これをさらにごみの有料化等により排出量を削減していきたいと考えております。

(B委員)

- ・ 地域計画の中で集団回収の17年度は数値がないのですが、目標の中の数値では総資源化量の内、約120tが集団回収ということで理解してよろしいですか？

(日向寺課長)

- 集団回収については、今は原則的に市が奨励していません、自主的に行っているのですが、市が奨励しているのであれば、数値を入れることができたのですが、現段階では、数値を入れることができません。今後、来年からは市として積極的に奨励制度を設けていこうと思いますので、それが今度は、目標数値にしっかり取り込んでいこうと考えております。

(C委員)

- ・ ごみステーションに関して、他の町内会の方がごみを出勤時等に捨てている。また、廃棄物最終処分場が新しく出来てから今まで処分場にいた大量のカラスがごみを漁りに市内に降りて来ている。あと、市にお願いとして、「収集日ではない日にごみステーションにごみを出す人」「ごみと資源物を混ぜて出す人」など、多数いるので、町内会への訪問講座を頻繁に行って欲しい。

(日向寺課長)

- カラスの件につきましては、廃棄物最終処分場が出来ると共にカラスの問題が間違いなく出てくるだろうと想定し、今年9月に各町内会对し、ごみの排出方法についての依頼文書を配布しました。また、不適正排出については、萩見地区で特に酷いとのことで、町内会と連携を取り「マナー改善運動」を実施し、その地区はかなり改善されてきています。このことから、今後、各町内会と市が常に連携を取り合えるようにし、「マナー改善運動」等を実施していきたい。また、町内会が不適正排出者に対して指導を行った際に、逆に怒られるなどのトラブルがあるとのことで、廃棄物の減量推

進員又は環境美化推進員等の制度を市から直接委嘱して不適正排出者に対して指導できるようにしたいと考えています。訪問講座に関しても、「ごみ・資源物の分け方・出し方」を市がきちんと伝えているようで、理解されていないことが今回の訪問講座で非常に多いことがわかりましたので、今後、頻繁に行っていきたいと考えています。

(D委員)

- ・ 他市町村のごみ・資源物の分別種類が多い所では、高齢者の方が「どれをどう分けていいかわからずごみが出せない」という状況があり、稚内市も高齢化してきているので、分別種類を増やした際に、高齢者の方に分別方法を理解してもらうのは難しいのではないかと？

(日向寺課長)

→ 来年の廃プラスチックを始めるとかなりの分別になり、手間がかかってきますので、高齢者の独り身の世帯に対してどういう対策をとれば良いか考えています。

(E委員)

- ・ 他市町村では分別がかなり進んでいる印象に対し、稚内市は「何もやってないのか？」と思っていたが、話を聞いて「こんなにも考えているんだ」と思いました。また、全国から注目を受けている日本初の新しい処分場が、10年でまた新しい処分場を作らなければいけないとなると、稚内市が誇れる物ではないと思いますので、先に有料化を進めるよりも分別して資源物となる物に対しては率先して分別して埋立量を減らし、もっと資源化できる方法を考えていただきたい。それと、市が今後のことについてこんなにも考えているのに市民まで浸透していないので、お互いに認識できるような運動・活動行っていただきたい。

(F委員)

- ・ コンビニに設置しているごみ箱に、「店で買ったごみの他に家庭のごみを捨てている人もいてごみの量が多く困っている」という状況。有料化した際に、「今よりもごみの量が増えるのではないかと？」という不安がある。

(G委員)

- ・ 資料を見させてもらって処理量がこれだけ多いということを初めて知り、ちょっとビックリしている状況です。

(H委員)

- ・ 市の考えや「ごみ・資源物の分け方・出し方」などの情報が市民の間に全く浸透してなく、残念に思っています。特に「ごみ・資源物の分け方・出し方」については、

手間のかかる分別（主にその他の紙）に対してすごく便利な方法があるにもかかわらず、その方法を知らない人が大勢いるので、その所を皆さんに是非知らせていただきたいし、知らせていこうと思っています。

（I 委員）

- ・ 昔は私たちが廃品回収した物を市がトラックで回収していただいていたのですが、海岸に流れ着く漂着物を回収していただければ、浜も大分綺麗になるかなと思うのですが？

（日向寺課長）

→ 昔、市が直営でごみの回収を行っていたので、トラック等の車両がかなり在ったのですが、現在は、トラックを始め収集車両が全く無い状況。また、ボランティアの清掃と資源回収を少し区分けして考えていこうと思っています。それで、ボランティアで廃品回収を行う地域に対しては、地域振興課とも話しながら協力できるものは協力していく体制で内部的に話を進めています。

（I 委員）

- ・ 前浜なんかは割りと片付いて綺麗になってはきたのですが、反対の西の方に行くと雪解けの時期なんかは今でも酷いんです。

（日向寺課長）

→ 今は漂着ごみが西海岸で酷く、全国的にも日本海側が大変な状況で問題になっていて、特にプラスチック類が多いです。これに対して国の費用をかけてモデル地区という話も出てきています。

（J 委員）

- ・ ■年前に稚内に来た時は分別をしていませんでしたので、「これも捨てちゃっていいの？」という感覚が数ヶ月程続いたが、その後は「何でも捨てちゃっていいみたい」という感覚になってしまった。様は、分別というのは、身に付けることだと思います。身に付いたことを行わなくなると、「行っていいんだろうか？」という感覚を持ってしまっているので、時間はかかると思いますが、身に付けさえすれば、どこに行っても対応はできると思っています。ですから、町内会を回ったりだとか、小学校等々、是非■■にも来ていただきたいと思っています。というのも、■年前に途中で若干の分別をするようになった時に「面倒くさい」という気持ちになりました。小さい紙とかも今日話を聞くまで紙袋に入れて出すなんて知りませんでしたので、いつもダンボールの中に挟んで出すなど凄く面倒くさく思っていて、知恵が無かったと痛感しております。そういう意味では、当たり前なんですけれども、家族ぐるみで家のレベルから知恵等を身に付けるなどをしていくことがとても重要なことですし、そのために市・行政がやれることも沢山あるだろうし、協力できるだろうし、おそらくは市内の団体である

とか、町内会であるとか、教育機関であるとか色々な所と一緒にやっていけばそんなに時間もかけないで、コストもあまりかけないでやっていける様な方法がある気がします。あと、今日の話を伺っていて、高齢者の方の分別についてなんですが、本当にどうしていくかということの本気で考えていかなければならない問題だと思っています。これは、ここだけで考えるのではなく、もっと他と連携をしていかなければならないと思います。その辺は衛生課が生活福祉部にありますので、隣の課などと連携を取って行っていくことができれば対応ができると思っております。

(9) 今後の日程審議

- ・ 後日、委員の都合に合わせて調整

(10) 一般廃棄物最終処分場視察

- ・ 9名

(11) 閉会

第1回審議会で出された要望や今後対策が必要と思われる疑問等を記載します。

- 「収集日ではない日にごみステーションにごみを出す人」「ごみと資源物を混ぜて出す人」など、多数いるので、町内会への訪問講座を頻繁に行って欲しい。
- 分別種類を増やした際に、高齢者の方に分別方法を理解してもらうのは難しいのではないかと？
- 先に有料化を進めるよりも分別して資源物となる物に対しては率先して分別して埋立量を減らし、もっと資源化できる方法を考えていただきたい。
- 市が今後のことについてこんなにも考えているのに市民まで浸透していないので、お互いに認識できるような運動・活動行っていただきたい。
- 「ごみ・資源物の分け方・出し方」については、手間のかかる分別（主にその他の紙）に対してすごく便利な方法があるにもかかわらず、その方法を知らない人が大勢いるので、その所を皆さんに是非知らせていただきたい。
- 海岸に流れ着く漂着物を回収していただければ、浜も大分綺麗になるかなと思う。
- 高齢者の方の分別について、本当にどうしていくかということの本気で考えていかなければならない問題だと思っています。衛生課が生活福祉部にありますので、隣の課などと連携を取って行っていくことができれば対応ができると思っております。